

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.17, 2000.3 : 5-13
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3459
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

大木 英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ。1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学（ニューヨーク）ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。現在、学校法人聖学院理事長。聖学院大学総合研究所長。

〔著書〕『ピューリタニズムの倫理思想』、『ピューリタン——近代化の精神構造』、『終末論的考察』、『現代人のユダヤ人化——現代文明論集』、『キリスト入門』、『歴史神学と社会倫理』、『偶然性と宗教』、『人類の知的遺産・バルト』、『日本の神学』（共著）、『新しい共同体の倫理学』、『主の祈り』、『日本は変わるか』（共著）、『宇魂和才の説』など。

肥前 栄一 ひぜん・えいいち

1935年生まれ。京都大学経済学部卒。同大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士（京都大学）。立教大学助手・専任講師、横浜国立大学助教授、東京大学助教授・教授を経て、現在、新潟大学経済学部教授。東京大学名誉教授。

〔著書〕『ドイツ経済政策史序説——プロイセンの進化の史的構造——』、『ドイツとロシア——比較社会経済史の一領域——』、『比較社会史の諸問題』（共編著）、『家・屋敷地と霊・呪術』（共編著）など。

〔訳書〕ローザ・ルクセンブルク『ポーランドの産業的發展』、ジョージ・パークリ『問いただす人』（共訳）、ハンス・ウルリヒ・ヴェーラー『ドイツ帝国 1871-1918年』（共訳）、ユルゲン・コッカ『歴史と啓蒙』（共訳）、ゲロルト・アムプロジウス／ウィリアム・H・ハーバード『20世紀ヨーロッパ社会経済史』（共訳）、ミヒャエル・ミッテラウアー『歴史人類学の家族研究——ヨーロッパ比較家族史の課題と方法——』（共訳）、マックス・ウェーバー『ロシア革命論II——ロシアの外見的立憲制への移行——』（共訳）など。

飯坂 良明 いいさか・よしあき

1926年富山県生まれ。東京大学法学部政治学科卒業。東京大学大学院政治学研究科特別研究生修了。学習院大学教授を経て、現在、聖学院大学学長、同大学院教授、大学院長。学習院大学名誉教授。

〔著書〕『権力への抵抗』（グロリア出版・1959）、『現代社会をみる眼』（日本放送出版協会・1968）、『現代政治学』（同・1968）、『キリスト者の政治的責任』（新教出版社・1970）、『宗教と現代』（玉川大学出版部・1981）、『未来への軌跡』（四谷ラウンド・1995）、『新約聖書に学ぶ』（世界思想社・1996）など。

〔訳書〕ハチスン『キリスト教と政治』（教文館・1961）、ラスキ『近代国家における自由』（岩波文庫・1974）、フロム『ユダヤ教の人間観』（河出書房新社・1980）、ローチ『表現の自由を脅かすもの』（角川書店・1996）など。

池 明観 ち・みよんくわん

1924年平安北道（現在は、朝鮮民主主義人民共和国）生まれ。ソウル大学大学院修了（宗教哲学専攻）後、徳成女子大学教授、ソウル大学講師、『思想界』主幹などを歴任。1972年来日し、東京女子大学客員教授。その後1993年まで現代文学部教授。同年、大韓民国に帰国。現在、翰林大学校翰林科学院日本学研究所長。歴史共同研究促進に関する日韓会議の韓国側座長を務める。

〔著書〕『現代史を生きる教会』、『破局の時代に生きる信仰』、『現代に生きる思想』、『韓国から見た日本』（いずれも新教出版社）、『人間の資産とは何か』、『韓国民主化への道』（岩波書店）ほか多数。

今井 宏 いまい・ひろし

1930年大阪生まれ。東京大学大学院人文科学研究科（西洋史学専攻）博士課程修了。現在、東京女子大学名誉教授。近代イギリス史専攻。

〔著書〕『イギリス革命の政治過程』（未来社・1984）、『絶対君主の時代』（河出書房・1964、現在は河出文庫）、『クロムウェルとピューリタン革命』（清水書院・1978）、『明治日本とイギリス革命』（研究社出版・1974、現在はちくま学芸文庫）、『日本人とイギリス——問いかけの軌跡』（ちくま新書）、『ヒストリカルガイド・イギリス』（山川出版社・1993）など。ほかにイギリス革命に関する論文多数。

〔訳書〕リチャードソン『イギリス革命論争史』（刀水書房・1979）、ケニヨン『近代イギリスの歴史家たち』（共訳）（ミネルヴァ書房・1988）など。

澁谷 浩 しぶや・ひろし

1932年岡山生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。政治学博士。現在、聖学院大学政治経済学部教授。明治学院大学名誉教授。

〔著書〕『ピューリタニズムの革命思想』（御茶の水書房・1978年）、『近代思想史における内村鑑三』（新地書房・1988年）、『保守政治の倫理』（北樹出版・1994年）。
〔訳書〕『自由民への訴え——ピューリタン革命文書選』（早稲田大学出版部・1978年）など。

岩井 淳 いわい・じゅん

1956年生まれ。東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。日本学術振興会特別研究員を経て、現在、静岡大学人文学部助教授。

〔著書〕『千年王国を夢みた革命——17世紀英米のピューリタン』、『伝統と近代——西洋近代史の再検討』（共著）、『社会的異端者の系譜——イギリス史上の人々』（共著）、『イギリス革命と千年王国』（共著）、『新版世界各国史11 イギリス史』（共著）、『クロムウェルとイギリス革命』（共著）。

田村 秀夫 たむら・ひでお

1923年生まれ。中央大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科（旧制）在籍。経済学博士。社会経済思想史専攻。中央大学助手・助教授・教授を経て、現在、名誉教授。

〔著書〕『社会思想史序説』、『イギリス革命思想史』、『近代思想の社会史』、『イギリス・ユートウピアの原型』、『イギリス革命とユートウピア』、『ユートピアの成立』、『イギリス革命と現代』、『ユートピアへの接近』、『社会思想史への道』、『トマス・モア』、『ユートウピアと千年王国』。

浜林 正夫 はまばやし・まさお

1925年生まれ。東京商科大学卒。小樽商科大学，東京教育大学，一橋大学，八千代国際大学を経て、現在、勤務先なし。一橋大学名誉教授。

〔著書〕『イギリス市民革命史』、『イギリス革命の思想構造』、『イギリス民主主義思想史』、『イギリス宗教史』、『人権の思想史』、『現代と史的唯物論』。

大澤 麦 おおさわ・むぎ

1963年生まれ。慶応義塾大学法学部政治学科卒。明治学院大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。法学博士。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。

〔著書〕『自然権としてのプロパティ——イングランド革命における急進主義政治思想の展開』、『イギリス・デモクラシーの擁護者A・D・リンゼイ——その人と思想』（共著）。

富田 理恵 とみた・りえ

1962年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。同大学院文学研究科博士過程退学。英国セント・アンドルーズ大学M. Littコース卒業。現在、東海女子大学専任講師。

〔主要論文〕「スコットランドと『1688-90年の革命』——ダンディーとその周辺からみて」（『史学雑誌』第101編）、「スコットランド宗教改革と二つの『規律の書』」（『歴史学研究』第668号）、「スコットランド近世社会の成立（1560-1625年）——宗教改革、集権化、同君連合の時代」（『西洋史学』第189号）。

〔訳書〕R・ミチスン編『スコットランド史——その意義と可能性』（共訳）。

渡辺 正人 わたなべ・まさと

二松学舎大学大学院文学研究科博士課程後期国文学専攻単位取得満期退学（文学修士）。現在、聖学院大学人文学部日本文化学科助教授。専攻は日本古代文学。

岡沢 憲芙 おかざわ・のりお

1967年早稲田大学政経学部卒業。早稲田大学社会科学部助教授を経て教授。その後、学部長などを歴任。現在、早稲田大学社会科学部教授、人口問題審議会委員、男女共同参画審議会委員、早稲田大学理事。

〔著書〕『おんたちのスウェーデン』（NHK出版）、『政党』（東京大学出版会）、『スウェーデンの挑戦』（岩波書店）、『エイジングソサエティ：スウェーデンの経験』早稲田大学出版部、『連行政治とは何か』（NHK出版）など。

村田 幸子 むらた・さちこ

1963年立教大学英米文学科卒業。NHKにアナウンサーとして入局。スタジオ102、NHKニュースワイドなどで社会性のある硬派の番組を中心に報道番組のリポーターを勤める。エリザベス女王来日の際の中継、東京サミットの中継、カーター大統領の宮中晩餐会中継などを担当した。2回にわたり大阪放送局（アナウンス室）にも勤務。1990年から解説委員として、NHKスペシャル「あなたが寝たきりになった時」、NHKモーニングワイドシリーズ「高齢化社会」のキャスター他多くの番組を担当。現在、NHK解説委員、「ラジオタ刊」編集長。公職として、中央社会保険医療協議会委員、身体障害者福祉審議会委員。

〔著書〕『女の魅力は話し方でさまる』、『仕事を語る女たち』（上・下）、など。

大塚 健司 おおつか・けんじ

1942年埼玉県大宮市生まれ。1968年早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了。同年埼玉県庁入庁。環境部地球環境保全推進室長，環境部廃棄物対策課課長，生活福祉部国民健康保険課課長，総合リハビリテーションセンター福祉局局長，健康福祉部次長を経て，1999年より現在，埼玉県健康福祉部部長。

斉藤 弥生 さいとう・やよい

1964年東京都生まれ。学習院大学法学部政治学科卒業。1988～93年(財)松下政経塾研究員，1990～93年スウェーデン国立ベクショー大学・ルンド大学政治学部大学院に留学，行政学修士号取得。1993年大阪外国語大学に勤務。外国語学部助手，専任講師を経て，現在は大阪大学大学院人間科学研究科助教授。専攻は行政学（高齢者政策）。

〔著書〕『体験ルポ 日本の高齢者福祉』（共著），『スウェーデン発 高齢社会と地方分権 福祉の主役は市町村』（共著），岡沢憲美・奥島孝康編『スウェーデンの経済 福祉国家の政治経済学』，岡沢憲美・宮本太郎編『比較福祉国家論』など。

牛津 信忠 うしつ・のぶただ

1970年同志社大学大学院社会福祉学専攻修了，文学修士。1975～76年LSE（ロンドン大学）大学院M. SC.コース留学。兵庫県社会福祉協議会地域福祉部・調査広報部主事，長崎外国語短期大学国際文化学科教授を経て，1998年4月より聖学院大学人文学部人間福祉学科教授。その間，長崎県社会福祉審議会委員（1997年より高齢者福祉部会部会長），21世紀に向けた社会福祉協議会の在り方検討委員会委員長（長崎県社会福祉協議会），等々を歴任。

〔著書〕『社会福祉——理論と実際——』（共著）中央法規出版，『社会福祉学原論』（共著）黎明書房，『福祉のあゆみ——長崎県社会事業史』（共著編）長崎県，『社会福祉——理論と実際——21世紀福祉社会の構築』（共著）中央法規出版，『21世紀と社会福祉』（共編著）踏歌書房，その他。

佐々木信夫 ささき・のぶお

1948年生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修了。法学博士（慶大）。元東京都庁都市計画計画主査。1989～94年まで聖学院大学政治経済学部教授。現在，聖学院大学総合研究所客員教授，中央大学経済学部教授（行政学）。

〔著書〕『地方分権と地方自治』、『自治体プロの条件』、『都庁』、『都市行政学研究』、『政策学への思想』、『現代地方自治の座標』、『現代都市行政の構図』、その他。

柳父 章 やなぶ・あきら

1928年東京生まれ。東京大学教養学部卒業。著述、大学非常勤講師歴任。1999年桃山学院大学退職、現在に至る。

〔著書〕『翻訳語の論理』（法政大学出版局・1972）、『翻訳の思想』（平凡社・1976）、『翻訳語成立事情』（岩波書店・1982年）、『ゴッドと上帝』（筑摩書房・1986）、『文化』（三省堂・1998）。

土井 健司 どい・けんじ

1962年生まれ。関西学院大学大学院神学研究科修士課程修了。京都大学大学院文学研究科修士課程（キリスト教学修了）。同博士課程中退。京都大学文学部助手、日本学術振興会特別研究員を経て、玉川大学文学部講師。1995年京都大学博士（文学）。1999年第7回中村元賞受賞。

〔著書・論文〕『神認識とエペクタシス』創文社（1998年）、『性の意味』（共著）新教出版社（1999年）、『現代を生きるキリスト教』（共著）教文館（2000年）、Ist Gott leidenschaftlos? Pathos und Apatheia bei Origenes, ThZ54（1998）など。

渡辺 正雄 わたなべ・まさお

1941年、東京大学工学部卒業。東京大学助教授、東京女子大学教授、中央大学教授、東京大学教授、新潟大学教授、東京電機大学教授、国際基督教大学教授を歴任。文学博士、理学博士。東京大学名誉教授。

〔著書〕『文化史における近代科学』未来社、『日本人と近代科学』岩波書店、『お雇い米国人科学教師』講談社&北泉社、『文化としての近代科学』丸善&講談社、『科学の歩み・科学との出会い』上・下、培風館、『科学史事始』南窓社、『科学史の小径』丸善、*Science and Cultural Exchange in Modern History Japan and the West* 北泉社、『明治前期学術雑誌論文記事総覧』啓学出版&ゆまに書房、『科学者とキリスト教』講談社、『キリストに出会う』丸善、『イギリス文学における科学思想』（編著）、『アメリカ文学における科学思想』（編著）研究社、『ガリレオの斜塔』（編著）、『ケプラーと世界の調和』（編著）、『ニュートンの光と影』（編著）、『ダーウィンと進化論』（編著）共立出版、ほか。

〔訳書〕バターフィールド『近代科学の誕生』上・下、講談社、クロムビー『中世から近代への科学史』（共訳）上・下、コロナ社、タトン『発見はいかに行なわれるか』（共訳）南窓社、

ケプラー『ケプラーの夢』（共訳）講談社、ウェストフォール『近代科学の形成』（共訳）みすず書房、A. ギュリック『貝と十字架 進化論者宣教師 J. T. ギュリックの生涯』（共訳）雄松堂出版、ラッセル他『OU科学史Ⅰ 宇宙の秩序』（監訳）創元社、リンダーバーク／ナンバーズ編『神と自然』（監訳）みすず書房、ほか。

柴田 史子 しばた・ふみこ

1953年東京生まれ。筑波大学博士課程修了。Harvard Divinity School卒業。現在、聖学院大学人文学部助教授。アメリカ研究専攻。

〔著書〕『アメリカの宗教伝統と文化』（共著）、『アメリカの宗教——多民族社会の世界観』（共著）ほか。

〔訳書〕H・R・ニーバー『アメリカ型キリスト教の社会的起源』、M・エリアーデ『世界宗教史』第2巻、ジェームズ・L・アダムズ『自由と結社の思想』、ほか。

近藤 勝彦 こんどう・かつひこ

1943年生まれ。東京大学、東京神学大学、テュービンゲン大学に学ぶ。神学博士。現在、東京神学大学教授、聖学院大学宗教センター所長。

〔著書〕『現代神学との対話』、『礼拝と教会形成の神学』、『中断される人生』、『癒しと信仰』、『歴史の神学の行方』、『トレルチ研究上・下』、『クリスマスのメッセージ』、ほか。

深井 智朗 ふかい・ともあき

1964年生まれ。アウグスブルグ大学第一哲学部博士課程修了。哲学博士（アウグスブルク大学）。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。

〔著書〕*Paradox und Prolepsis*, Marburg, 1996, 1999 (2.Aufl.), 『アポロゲティークと終末論』北樹出版、等。

佐野 正子 さの・まさこ

1961年生まれ。国際基督教大学教養学部卒。同大学院比較文化研究科博士前期課程、東京神学大学院神学研究科博士前期課程修了。オックスフォード大学に留学。現在、聖学院大学人文学部特任講師。

〔論文〕「十七世紀イングランドの独立派の教会論」（『神学』61号、1999年所収）他。

ヤン・I・ヨェンヒル Jan I. Joehnhill

ルト大学社会学部。

イヴァン・ヴェルニック Ivan Bernik

1950年生まれ。リュブリアナ大学社会学部教授。

〔主業績〕 *Intellectuals in the Transition from Imagined to Real Existing Democracy in Slovenia*. V: Bozoki, R. (ed.): *Intellectuals and Politics in Politics in Central Europe*, CEU Press, Budapest, 1999.

ボルート・ロンツェビッチ Borut Roncevic

1975年生まれ。リュブリアナ大学社会科学部研究生。

〔主業績〕 *Med trgom in drzavo: intermediarna sfera kot producent kolektivnih dobrin* (Between market and state: intermediary sphere as a producer of collective goods). *Teorija in praksa*, maj/junij 1999, vol.36, no.3.

ピエール・ギーベンティフ Pierre Guibentif

リスボン自治大学，労働-企業高等科学研究所教授。

〔主業績〕 “A Produção do Direito. Critica de um conceito na fronteira entre sociologia do direito e ciência da legislação,” *Legislação* (Oeiras, Portugal), 1993, Nr.7, S.31-72.

圓岡 偉男 つぶらおか・ひでお

1964年生まれ。早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士・人間科学（早稲田大学）。現在，早稲田大学人間科学部講師。

〔著書〕『問主観性の人間科学』（編著）言叢社。

〔訳書〕『ミクロ・マクロリンクの社会理論』（共訳）新泉社。

デイヴィッド・大木・エイハーン David Oki Ahearn

Chair, Department of Religion and Philosophy, LaGrange College, LaGrange, Georgia.
〔Education〕 Ph.D., Emory University, Graduate Division of Religion, Department of Ethics and Society; 1997. Ph.D., studies, University of Basel, Switzerland, Systematic Theology; 1988-90. Master of Divinity, Perkins School of Theology; 1986. Bachelor of Arts, Austin College, 1981.
〔Dissertation〕 “Covenantal Ethics and Public Participation: The Atlanta Project, 1991-96.”
Adviser: Dr. William Johnson Everett.
〔Pastoral Status〕 Elder, North Georgia Conference, United Methodist Church.
〔Additional Publications and Presentations〕 “Urban Empowerment as Public Participation: The Atlanta Project and Jürgen Habermas’ Theory of Communicative Action,” Society of Christian Ethics, January 2000., “Corporate Social Responsibility and Community Empowerment: An Unholy Alliance?” Urban Ethics: Dialogue and Beyond, Holy Names College; 1995., “Privacy and Public Justice in the Family: Competing Values in the Federalist Theological Tradition,” Academy American of Religion, Southeast; March, 1994., “Religious Faith and Public Policy: Views from Capital Hill.” Opening symposium, Society of Christian Ethics; 1995.
〔Panel Discussion〕 “Milner Ball, The World and the Law.” Session convener and moderator, Ethics and Law Group, Society of Christian Ethics; 1995.
〔Translator〕 “Like an Ever-flowing Stream: the Uprising of Hope in Central Europe.” Jan Milic Lochman. Occasional Papers of Religion in Eastern Europe 11: 32-38 Fall, 1991.
〔Professional Societies〕 Society of Christian Ethics, American Academy of Religion.

椿 まゆみ つばき・まゆみ

千葉大学教育学部卒。ウェーバースタイト大学心理学科及び社会学科 (Double Major) 卒。ユタ大学言語学部大学院修士課程修了。MA取得。現在、聖学院大学共通英語プログラム委託講師。

ディーン・W・サザデン Dean W. Sotherden

1960年生まれ。1982年オハイオ大学卒。1997年1月テンプル大学にてM. Ed.取得。現在、聖学院大学総合研究所助手。